



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中尾 俊哉

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 高工 弘 TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	640	△34.1	△53	—	△51	—	△53	—
28年3月期第1四半期	972	9.3	△57	—	△51	—	△52	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △116百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △61百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△4.68	—
28年3月期第1四半期	△5.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	4,168	1,539	36.9	135.14
28年3月期	4,847	1,655	34.2	145.40

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,539百万円 28年3月期 1,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	3,076	13.5	78	717.1	72	454.4
通期	6,711	11.4	239	88.9	224	89.1

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	11,402,636株	28年3月期	11,402,636株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	14,200株	28年3月期	14,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	11,388,436株	28年3月期1Q	9,488,436株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、企業収益や個人消費の停滞感が強くなりました。さらに、中国を始めとするアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱問題の影響による株価の下落や急激な円高などから先行きは不透明なものとなりました。

このような中、当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS(顧客満足)を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストダウンならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期における当社グループの連結売上高は、関連得意先業界の設備投資が一巡したことや前期末における売上増の反動から工事進行基準による売上案件などが減少し、中小規模飼料プラント工事物件の売上などはありましたが、640百万円(前年同四半期比34.1%減)となりました。

また、損益面に関しましては、売上高減少などの影響を受け、営業損失53百万円(前年同四半期は営業損失57百万円)、経常損失51百万円(前年同四半期は経常損失51百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失53百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失52百万円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

〔産業機械関連事業〕

製粉業界におきましては、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で7.1%引き下げられたことを受け、7月に業務用小麦粉の価格改定を実施し、これに伴う需要変動の影響により国内業務用小麦粉の出荷は前年を下回り、また、副製品であるふすまの価格は軟調に推移した模様であります。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、世界的な豊作や安価な南米産への輸入シフトなどを理由に値下がり、また為替の急激な円高から原材料価格は下落し、飼料メーカー各社は4月に配合飼料価格を値下げしましたが、原材料価格を上回る値下げとなり原料ポジションが悪化したことや、メーカー間の競争がより一層激しくなりました。これらにより、両業界ともに非常に厳しい事業環境でございました。

このような事業環境のもと、受注・売上確保のために積極的な営業活動を展開し、売上の主要なものとして、平倉サイロ建設工事、バラ出荷タンク増設工事のほかウィスキー製造設備などの各種設備工事、その他主力製品のロール機、シフター、精選諸機械などの売上があったものの、売上高は540百万円(前年同四半期比35.4%減)と前年同四半期に比べ減少いたしました。損益面に関しましては、プラント工事ほかの予算管理の徹底、経費削減などに努めましたが、売上高減少により営業損失40百万円(前年同四半期は営業損失57百万円)となりました。

受注については、特に飼料業界などで、競争力強化のためのコストダウンを目的とした工場集約化を含む業界再編の動きが見られ前年同四半期末に比べ446百万円増と順調に推移しました。

〔太陽光関連事業〕

太陽光関連事業につきましては、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度(FIT)の見直しが行われる一方で、政府の掲げる新築住宅をゼロ・エネルギー住宅とする政策のもと、今後、国内では太陽光発電設備を活用したゼロエネ住宅のスタンダード化が期待されます。このような事業環境のもと、受注・売上確保のため積極的な営業活動を展開し、売上高は90百万円(前年同四半期比28.3%減)、営業損失20百万円(前年同四半期は営業損失7百万円)となりました。

〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高10百万円(前年同四半期比1.8%減)、営業利益8百万円(前年同四半期比2.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産に関する状況

資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は4,168百万円となり、前連結会計年度末に比較して、678百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が838百万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が1,560百万円減少したことなどによるものであります。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,629百万円となり、前連結会計年度末に比較して、562百万円減少いたしました。これは主に、前受金が310百万円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が821百万円減少したことなどによるものであります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,539百万円となり、前連結会計年度末に比較して116百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が53百万円、その他有価証券評価差額金が43百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結損益状況につきましては、売上高は6,711百万円、営業利益239百万円、経常利益224百万円を予想しており、平成28年3月期決算短信(平成28年5月12日開示)に記載した内容と変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	793,856	1,632,616
受取手形及び売掛金	2,116,637	555,963
商品及び製品	37,442	46,145
仕掛品	159,292	240,173
原材料及び貯蔵品	57,170	57,996
その他	21,596	31,840
貸倒引当金	△4,300	△1,000
流動資産合計	3,181,695	2,563,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	149,649	146,353
機械装置及び運搬具(純額)	37,898	35,472
土地	926,416	926,416
その他(純額)	47,549	43,834
有形固定資産合計	1,161,514	1,152,076
無形固定資産		
その他	41,971	38,901
無形固定資産合計	41,971	38,901
投資その他の資産		
投資有価証券	400,167	355,120
その他	61,723	58,308
投資その他の資産合計	461,891	413,429
固定資産合計	1,665,377	1,604,407
資産合計	4,847,072	4,168,143
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,343,062	521,638
電子記録債務	453,789	499,556
短期借入金	541,160	508,736
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	27,630	6,037
前受金	76,441	386,862
賞与引当金	15,120	15,875
その他	53,997	59,954
流動負債合計	2,531,200	2,018,661

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	205,150	149,764
退職給付に係る負債	221,424	229,895
資産除去債務	19,698	19,698
その他	203,731	201,070
固定負債合計	660,003	610,427
負債合計	3,191,204	2,629,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,059	1,414,059
資本剰余金	176,700	176,700
利益剰余金	19,907	△33,403
自己株式	△8,941	△8,941
株主資本合計	1,601,725	1,548,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37,805	△81,172
為替換算調整勘定	91,948	71,811
その他の包括利益累計額合計	54,142	△9,360
純資産合計	1,655,867	1,539,054
負債純資産合計	4,847,072	4,168,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	972,330	640,786
売上原価	881,555	511,873
売上総利益	90,774	128,912
販売費及び一般管理費	147,964	182,125
営業損失(△)	△57,189	△53,212
営業外収益		
受取利息	8,810	4,463
受取配当金	554	572
その他	1,181	1,158
営業外収益合計	10,545	6,194
営業外費用		
支払利息	2,333	2,693
持分法による投資損失	2,130	1,681
その他	13	—
営業外費用合計	4,477	4,374
経常損失(△)	△51,121	△51,392
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,121	△51,392
法人税、住民税及び事業税	2,090	1,918
法人税等調整額	△214	—
法人税等合計	1,876	1,918
四半期純損失(△)	△52,998	△53,310
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△52,998	△53,310

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△52,998	△53,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,325	△43,366
為替換算調整勘定	600	△20,136
その他の包括利益合計	△8,724	△63,503
四半期包括利益	△61,723	△116,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,723	△116,813
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	太陽光 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	835,935	126,130	10,264	972,330	—	972,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	835,935	126,130	10,264	972,330	—	972,330
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△57,199	△7,967	7,976	△57,189	—	△57,189

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	太陽光 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	540,265	90,437	10,084	640,786	—	640,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	540,265	90,437	10,084	640,786	—	640,786
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△40,808	△20,544	8,140	△53,212	—	△53,212

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。